

FUNSTAR

2019 by dance team FUNSTAR





『分けない社会』
いつも一緒に踊ってきた子供たちが
創り、拡げます。

世の中には『分ける』仕組みが多くある。

でも、ダンスを通して見えるのは

「ちがい」は個性であり、魅力であること。

FUNSTARは踊ることで“共にある喜び・限りない成長”を体現しています。

FUNSTAR

FUNSTARとは

「障がい者ダンサー」×「キッズダンサー」が織りなす
インクルーシブダンスチーム

ダンスを楽しみながら
スターになっちゃおう

知的障がいのある中学生以上の余暇として2019年から
スタートしたFUNSTAR。

一緒に踊るキッズダンサー達とワンチーム。

大きな舞台も、悔しい思いも、

みんなで感情を共有してきました。余暇が人生を変える。

大きな問題は

「障がいという世界への関心の薄さ」と
「分けることからスタートする大人達」

出来ないことは出来る人がスマートに助けよう。
私達が、誰かの勇気になっていこう。





一緒に踊ることで
生まれる笑顔。
広がるつながり。
誰かの助けになることで
自分も胸を張って生きていく。
大人になっても仲間だよ！

event

拡げよう

FUNSTARを多くの人に見てもらうことで自分の可能性に気付いてもらう。障がいのある人は彩り豊かな人生の選択肢に、子供達は得意なダンスを生かして壁のない世界をあたりまえに。知的障がいの人って怖くないよ！

Dance Dance Dance at YOKOHAMA/かわさきパラコンサート
ラポール横浜主催車椅子バスケエキシビションオープニングアクト
Jリーグ横浜FCオープニングアクト/世界ダウン症の日バディウォーク出演（横浜・東京）/tvk「ハマナビ」・東京新聞・かながわ福祉サービス・タウンニュース
Yahoo!ニュース取材





650人で障がい理解！インクルーシブダンスイベント 「FUN!FUN!FUN!～みんなのみなみ de SHOW～」

毎年スポーツの日祝日に南公会堂にて開催。ダンスや吹奏楽など発表会×学びの時間で構成されるイベント。

5回目の今年は（10/13開催）出演者200名・観客450名と過去最大の規模で実施。（後援：南区長・横浜市教育委員会等）

県内より障がい者団体約60名・未就学から大人まで約140名計200名が出演（市内の中学校・高校の部活参加・一般の踊りの団体）

イベントテーマは

「ジャンルも世代も障がいも超えて、互いにエールを送り合おう！」

今年のゲスト

- ・YouTube登録者数約11万人32歳ダウン症はるちゃんねるからはるちゃんご家族（ダンスとはるちゃんのお母様とFUNSTARりおくんお母様によるダウン症と自閉症の母によるトークショー）
- ・デフリンピックに因んでデフダンスチーム（手話ダンス）

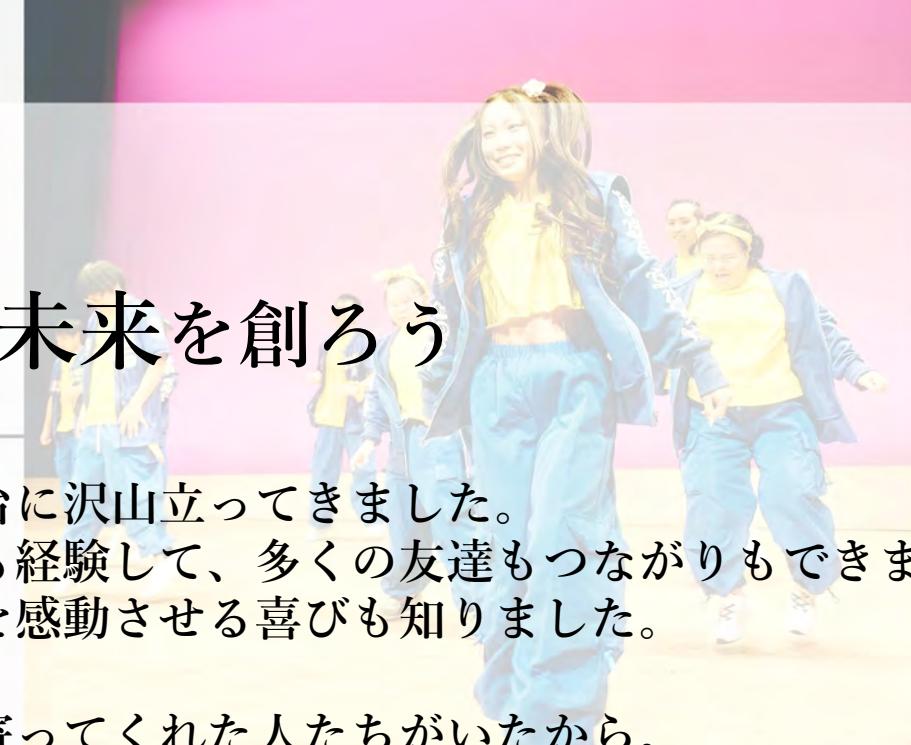
楽しく、わかりやすく、自然に、障がい理解を促進

イベントを通してすぐ仲良くなれるのが若い世代のいいところであり、数年後大人になる子供達に心の育成の機会を創出。衣装の着替えや階段の歩行など、自然と手助けする姿があちらこちらに。今年は「分けない社会」をテーマにドキュメンタリーを制作し、FUNSTARの活動に沢山の反響をいただきました。



FUNSTAR

一緒に未来を創ろう



キッズダンスだけだったら絶対に立てない舞台に沢山立ってきました。
市内の学校とコラボレーション企画もいくつも経験して、多くの友達もつながりもできました。
支援級をテーマにした劇も上演しました。人を感動させる喜びも知りました。
それは全部FUNSTARのおかげ。

私達のダンスを見て、障がいのある人に歩み寄ってくれた人たちがいたから。
障がいのあるメンバーの魅力も可能性もまだまだ伝えきれていないから、私達が伝えていきます。
FUNSTARの初期に一緒に踊ったキッズダンサーは今大学生です。

分けるなんてしない、今も地元で会ったら名前を呼んで再会を喜んでくれます。
障がいのあるメンバーも、キッズダンサーの元気とストイックなダンスに向かう姿勢に刺激を受けて頑張っています。マナーとして、大きな声を出さないことや近づきすぎないこと、キッズ達から教わったからできるようになりました。努力する大切さも。

まだまだ社会には居場所のない障がいのある人がいます。
ダンスじゃなくても得意なこと好きなことを見つけて、一緒に感動を分かち合える
コミュニティが沢山出来るように私達FUNSTARが社会との架け橋になっていきます。